

はこだて十人十色トレインナーレ プレスリリース

hakodate+

代表 池井 一季

事務局 紀 あさ (080-3318-5466)

企画名 はこだて十人十色トレインナーレ (はこだてじゅうにんといとれいなーれ)

主催 hakodate+ (はこだてぷらす)

連絡先 住所 〒040-0056 函館市弥生町 23-1 みかづき工房内 hakodate+

電話 080-3318-5466 (事務局：紀あさ) メール temawashi@gmail.com

後援

函館市・函館市教育委員会・NHK 函館放送局・NCV 函館放送局・函館山ロープウェイ (株)
FM いるか・北海道新聞函館支社・函館新聞社・北海道旅客鉄道株式会社函館支社

会期 2016年 3月 23日(水)～4月 10日(日) 入場 無料

(※開業3日前から/前日の22日16時頃に搬入済みでプレス向けオープン致します)

その他の時間帯でもぜひお問い合わせください)

場所 函館市地域交流まちづくりセンター 1923年建造 函館市景観形成指定建築物内にある地域交流の場

9:00～21:00(3/30のみ休館)

舶来居酒屋 杉の子 1958年開業 JR函館駅前地元常連も旅人も同じように迎え入れてきた老舗店

【夜】18:30～23:00(日・月以外) / 【昼】18:30～14:00(日・月のみ)

※杉の子では期間中の日曜・月曜に特別ランチ営業します。ランチ時は閲覧のみでの入店も可能です。

WEB <http://shinhakodate.com/> (新函館.com)

コンセプト

2016年3月26日、いよいよ北海道新幹線が函館までの開業日を迎えます。

1964年3月23日に日本鉄道建設公団が青函トンネル調査事業所を函館市港町に設置、同年5月の北海道側吉岡斜坑の掘削開始による青函トンネルの着工開始から数えて52年、1946年の地質調査開始から数えれば70年。

北海道に新幹線を…先人たちが見た夢が、半世紀以上の時を経て形になる時がやってきます。長い時の流れの中で、この日この町に居合わせるということ。

トンネルの着工以前からの函館を知る2つの場所を会場に、函館ゆかりの、様々な分野の表現者たちが、その瞬間に寄せる思いを形にします。

期間中のイベント

① オープニング・パーティ

日時 3月27日(日) 19:00～21:00 場所 函館駅前会場(舶来居酒屋 杉の子)

※開業イベントに従事者でも参加できるような時間にしました。打ち上げ気分で参加していただけたらうれしいです。

内容 一番列車に乗車レポート/作家による作品解説/交流会

参加費等 参加無料/予約不要/飲食は個別会計

② ワークショップ

日時 4月3日(日) 13:00～16:00 場所 十字街会場(まちづくりセンター)

内容 新幹線カラーのフェルトストラップ作り 講師 玉山知子(参加作家)

参加費等 材料費として500円/予約不要/時間内いつでも開始可能/通常15分程度で完成

③ 期間中、杉の子とDrip Drop(まちづくりセンター内)で新幹線にちなんだ特別メニューを用意

出展予定作家と略歴 (50音順)

・池井希代美(動画) ギャラリー三日月(函館市)を運営

H5系の初の陸送を歩道橋から見つめた動画を公開予定

同ギャラリーはハコダテ・トリエンナーレ(2009年/2012年)の会場でもあり、函館でのアート作品の生まれる場。

・石川潤(平面作品) 七飯在住・画家

北海道新幹線の色へのオマージュ、H5系の3色による美術作品の制作予定

札幌芸術の森美術館の副館長・吉崎元章氏の推薦により上野の森美術館VOCA展に出展予定の道南の若手作家。

函館では、ハコダテ・トリエンナーレ(2012)に出展 ほか美術展出演歴多数。

・和泉志野(がま口作品) 函館在住・がま口作家

小型立体作品を制作予定

がま口作家として知られる。がま口の箱庭の中に新幹線をモチーフにした世界が広がる。

・大野希(写真絵画) 函館滞在・写真家

函館西部地区の景色の中に新幹線の3色を探す写真作品を制作予定

日本写真芸術専門学校出身。写真着色などの手法で絵画的な独自の世界を描き上げる。

・加藤晶子(平面作品) 函館在住・画家

新幹線カラーを用い函館の色を表現した絵画作品を制作予定

JR五稜郭駅構内には加藤晶子の描いた、列車から見た線路の写実的な風景画が常設されている。

・紀あさ(写真作品) 写真家・手回しオルガン奏者・はこだて観光大使

開業へ向かう北海道新幹線に関連するの様子を写真物語を展示予定 100日前よりWEBサイトで先行公開

ハコダテ・トリエンナーレ(2012)に写真出展、写真集に「ギリヤーク尼ヶ崎への手紙」(2015)。

アートシーンでのオルガンの演奏は、二子玉川・ピエンナーレ(2014)、はこだて国際民俗芸術祭など多数。

・高岡純司(写真) 函館在住・写真

新幹線線路の陸揚げや、開業へ向かうカウントダウンの様子を写真展示予定

函館市地域交流まちづくりセンターで写真展示予定。

・田村昌弘(写真作品) 函館在住・コーディネーター

冬を翔る新幹線の試験走行や、青函連絡船の終航時のアーカイブを写真展示予定

大門路地裏探偵団主宰。また世界料理学会・バル街など食分野での津軽海峡圏事業を担う。

・玉山知子(フェルト作品) 七飯在住・羊毛フェルト作家

北海道新幹線の色へのオマージュ、天井から吊るすフェルト作品を予定

2012年に帯広より函館に拠点を移す。制作活動の他、講座の講師などもつとめる。

・堂前邦子(陶芸) 函館在住・陶芸家

北海道新幹線の色へのオマージュ、H5系の色をモチーフとする作陶を予定

愛知県瀬戸市で陶芸を学ぶ。現在、はこだて工芸舎(函館市)の主宰をつとめる。

・半澤孝平(詩) 函館在住・新聞記者・詩人

詩を展示予定 札幌(2008、2013)、恵庭(2008、2012)、小樽(2009)で詩展開催。

えにわ・ちとせ情報紙の代表者を経て、2015年より函館にて記者職。

・藤島斉(エッセイ) 函館在住・もの書き・編集人

新幹線にまつわる花のエピソードを展示予定

北海道新聞で毎週「函館山花しるべ」を連載。FMいるか、NCVテレビでは自身のコーナーに毎月出演。

著書に「花しるべ～寝ても覚めても函館山」3部作がある。

はこだて十人十色トレインナーレは、十人十色に「住人と色」の思いも込めました。あるいは十が+記号に見えたら「はこだて+人はこだて+色」のようにも見えるかもしれません。旅人と住人のどちらもが集う場所に展示することで「新幹線きたんだね…」と、ふと会話するような空間になったらいいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

その他の取り組み

展示に先行して

「北海道新幹線の百話一夜物語」をWEBで発表中です

- ・開業 100 日前から 1 日前まで

現在すでにみていただくことが可能です。

<https://shinhakodate.wordpress.com/> (トレインナーレのHPからもリンクしています)

「北海道新幹線の百話一夜物語」は北海道新幹線が始まる 100 日前から 0 日前まで一夜にひとつ、何か新幹線と関連する物語をつづります。

その日あったことではなくて、もしも毎晩「ねえ新幹線のお話して」って言われたら今夜はどんな話をしよう・・・

そんな感じの物語

(はこだて十人十色トレインナーレ出展作品)

展示期間中に

出展者のうち 2 人で、実際に「最初に新幹線で青函トンネルを往復した乗客」になります。

- 1 のぼり はやぶさ 10(新函館からの一番列車) 先頭車(普通車)立ち席
- 2 くだり はやて 93(今別から最速で引き返す列車) 先頭車(グランクラス)最前列指定
- 3 くだり はやぶさ 1(東京からの長距離の一番列車) グリーン車

を予約しています。

一番列車 3 本、席種類 3 種類、新駅 3 つ、車輦 3 種(H5 はやぶさ、はやて、E5 はやぶさ)も体験し 27 日(日)夜 7 時～のオープニングパーティでは感想トークもいたします。

思い

新幹線開業はある種、歴史的な出来事だと思います。大きなイベントも多い中ですが、ふと日々立ち寄る場所での、この町のこれからの時間を見守るような空間ができたらと思っています。作品は新幹線開業に思いをよせる方での新作となりますが、作家それぞれの作品としてみられるようなものになっています。

どうぞ宜しくお願いいたします。